

-아/어야 하다

～しなければならない（書き言葉・改まった場面）

意味は -아/어야 되다 と同じですが、こちらは文章・掲示・改まった話し方で使われる形です。

■ つけ方

語幹	形	例
語幹末が ㅏ・ㅗ	-아야 하다	가다 → 가야 합니다
それ以外	-어야 하다	읽다 → 읽어야 합니다
하다 動詞	해야 하다	제출해야 합니다
話し言葉	-아/어야 되다 を使う	가야 돼요
過去	하다 に時制	가야 했습니다
해요体	-아/어야 해요	서둘러야 해요

■ 二つの形と使い方

義務を表します。내일 일찍 가야 돼요（明日早く行かなければなりません）。

되다 と 하다 の差はわずかです。話し言葉では 돼요、書き言葉やあらたまった場では 합니다 が多く使われます。意味の違いを気にする必要はほとんどありません。

-아/어야 は「してこそ」という条件を表す部分です。가야 알 수 있어요（行かなければわかりません）のように、되다・하다 なしでも使えます。この場合は必須条件を示します。

否定の「しなくてもいい」は 안 -아/어도 되다 です。안 가도 돼요（行かなくてもいいです）。

■ 例文

- 1 서류를 오늘까지 제출해야 합니다.
書類を今日までに提出しなければなりません。
- 2 규정을 지켜야 합니다.
規定を守らなければなりません。
- 3 다시 확인해야 해요.
もう一度確認しなければなりません。
- 4 예약을 먼저 해야 합니다.
先に予約をしなければなりません。
- 5 안전모를 꼭 써야 합니다.
ヘルメットを必ずかぶらなければなりません。
- 6 모두 참석해야 합니다.
全員出席しなければなりません。

■ 紛らわしいもの

-아/어야 되다
意味は同じです。되다 は会話、하다 は掲示・マニュアル・報告書などの書き言葉で多く使われます。
가야 돼요. (会話) / 가야 합니다. (文章)

-(으)면 안 되다
義務の裏返しで、禁止を表します。
제출해야 합니다. (しなければならない) / 제출하면 안 됩니다. (してはいけません)

-아/어도 되다
許可を表し、否定形は義務がないことを示します。
안 가도 됩니다. (行かなくてもよい)

■ まちがえやすい点

- X 가야 해요?
○가야 합니다.
文章では 합니다体 でそろえます。해요 が混ざると文体が揺れます。
- X 가지 않아야 합니다.
○가면 안 됩니다.
禁止は -(으)면 안 되다 を使います。
- X 해야 하요.
○해야 해요.
하다 の해요体 は 해요 です。하요 という形はありません。